

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 黒崎播磨株式会社（証券コード: 5352）

### 【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1

### ■格付事由

- 大手耐火物メーカーで、日本製鉄の連結子会社（22/3期末議決権比率46.9%）。当社の耐火物は大半が鉄鋼の製造工程で使用され、うち約半分が日本製鉄グループ向けに販売されている。海外ではインドで増産対応や操業改善などが進み、業績への貢献度が高まる方向にある。欧州は現地の耐火物メーカーであるArcelorMittal Refractoriesとの協業により、販売力が強化されている。
- 当社の格付には日本製鉄の信用力を織り込んでいる。日本製鉄の製造工程で使用される耐火物の多くが当社製品となっており、同社と共同で開発されたものも多い。特に高級鋼の製造において当社の耐火物は重要な役割を果たしており、他社では代替できない。当社の代表取締役社長は日本製鉄出身であるほか、役職員の派遣も行われており人的関係が強固である。当面は好業績が見込まれることに加え、財務内容は良好な水準にあり、特段の懸念はない。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 23/3期経常利益は115億円（前期比32.5%増）と過去最高益を更新する計画である。海外での販売が好調であるほか、原材料のコストアップに対する価格反映の進展も利益を押し上げるとみられる。24/3期以降も業績は堅調に推移すると想定される。自動車の生産回復に伴って国内粗鋼生産量が持ち直し、耐火物需要が増加すると考えられる。海外事業はインドにおける生産能力増強投資の効果発現や、パートナー企業との連携による欧州での拡販により、今後も利益貢献が見込まれる。
- 23/3期第2四半期末のDERは0.5倍とおおむね22/3期末並みの水準にある。足元では原材料価格の上昇によって運転資金負担が高まっているが、当面大型の投資は計画されておらず、中期的に有利子負債は減少していくと想定される。また、引き続き利益蓄積に伴って自己資本が増加し、財務内容が改善すると考えられる。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

### ■格付対象

発行体：黒崎播磨株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	200億円	J-1

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年11月11日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：水川 雅義
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「企業グループの傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 黒崎播磨株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与に係る手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル